

令和 5 年度事業報告

地域建設業を取り巻く環境は、公共建設投資の下げ止まりや設計労務単価の引上げ等により全体として改善傾向になりましたが、令和 5 年度は円安や世界各地における安全保障環境の悪化等に起因する資機材価格の高騰や品薄などの影響を大きく受けたほか、気候変動の影響により近年頻発化、激甚化している豪雨や台風等の災害が、1 月に発生した能登半島地震を始め、全国各地で発生し、河川の氾濫等の甚大な被害をもたらした 1 年となりました。

こうした状況の中で、政府の令和 5 年度公共事業予算は 6 兆 600 億が計上され、横浜市は前年度比 1.1%増の施設等整備費 3,986 億円、神奈川県は公共土木関係予算 1,067 億円など、例年に比べ増額されました。2年続けて落ち込んだ 2021, 2022 年度から持ち直し、2023 年度は 2.0%増、2024 年度には 0.9%増と、コロナ過を終え、回復基調になってきています。

こうした中で建設業を取り巻く環境は、建設資機材・燃料の高騰や、人材確保難が続いており、本年 4 月からは建設業においても労働時間の上限規制が始まりました。これに伴い週休 2 日制をはじめとする働きかた改革の実施、ICT 等の情報技術を駆使し生産性の向上など様々な取り組みが行政機関、発注者等から紹介されています。しかし、こうした改革に建設業各社が直ぐに取り組めるわけではありません。資金、人材など各社それぞれの現状を踏まえ、できるところから始めること。超勤が多い部署はなぜ多いのか、どうすれば減らすことができるのか、部署ごとに議論し、できるところから始める。不安になる前に行動することが大切と考えています。

さて、令和 5 年度の支部活動につきましては、会員懇親会、会員交流会を開催しました。会員懇親会では、第一部 前内閣総理大臣菅義偉様の講演会、第二部 会員懇親会とし、菅前総理を始め、山中市長、平原副市長、瀬之間横浜市会議長、関係各局他多くの皆様をお招きして開催しました。

また、会員交流会では今年度新規入会された 20 社が仲間となり、新入会員と役員との交流を深めました。過渡期となる建設業界を会員一丸となり乗り切ることが望むところです。

続いて、横浜市関係部局並びに横浜市会主要政党へ①公共工事の予算確保、②横浜市立工業高校設置、③建設業の時間外労働の上限規制の実施のための環境整備について、を要望しました。上記要望に加え、夏季期間の工程設定について、横浜市技監・建築局長、(公財)横浜市建築保全公社へ、また、局内部での書類の円滑な処理、事業者へ迅速な事務手続きの指導について、大久保副市長・こども青少年局長、健康福祉局長へ要望しました。

12 月には建築局長へ①複雑な設計への対応と機能優先の設計採用について②夏季期間の工程設定について③時間外労働規制を考慮した適正な工期設定について④建設資機材高騰への迅速な対応について、2 月には平原副市長へ①令和 6 年 4 月以降の働き方改革への対応について②GREEN×EXPO2027 への対応について③契約議案の見直しについて要望しました。

また、菅前内閣総理大臣へ衆議院会館にて7月には①公共事業予算の確保②横浜市立工業高校の設置③時間外労働の規制と働き方改革、2月には専門業者の神奈川県鉄筋業協同組合と神奈川県型枠工事業協同組合と合同で①適正な価格設定での発注②建設資機材の高騰③大規模地震に備えたインフラ整備の促進④契約議案の見直しを横浜支部長から直接要望したところです。

専門業者の神奈川県鉄筋業協同組合、県型枠工事業協同組合の幹部らと人材不足や設計労務単価時間外労働上限規制適用など、共通課題について意見を交換しました。

横浜建設業防災作業隊として、8月の横浜市総合防災訓練及び9月の地震時の即時出動訓練、2月にオンライン開催の横浜市防災会議に参加しました。

また、市内全中学生への防災教育を目的にした「はまっこ防災プロジェクト」へ協賛しています。担い手育成については、新型コロナ下のため中断していた現場見学会が復活し6月に県立向の岡工業高校、7月には県立神奈川工業高校で開催しました。浅野工学専門学校では出前授業を行ったほか、子どもたちへのものづくり体験を通して建設業の魅力を伝えている横浜建設業青年会への協賛を行いました。

会員企業への表彰は、会員事業所役員職員に対する横浜支部表彰、横浜市優良工事表彰受賞者に対する顕彰、県協会表彰、全建表彰候補者の推薦を行いました。また、1月に発生した能登半島地震では、現地に赴き厳寒のなか水道管復旧工事に従事された会員企業に対し顕彰しました。

この他、会員の親睦と研修を兼ねた「横浜支部トップセミナーIN 姫路・淡路」、4年ぶりの開催となる横浜建設業協会と合同の新年賀詞交歓会を実施しました。

当支部の長年の課題である会員の増強については、お蔭様で令和4年度末の57社から22社増加し、令和5年度末に79社となりました。

第1 横浜市並びに横浜市会に対する要望活動

1. 令和6年度横浜市予算編成に係る要望

横浜市会 自民党	6月19日
公明党	6月13日

2. 横浜市関係部局等との意見交換会

横浜市建築保全公社	6月5日
横浜市 財政局契約部	6月14日
横浜市 建築局	6月15日
横浜市 技監・財政局ファシリティマネジメント推進室	6月22日
横浜市長(平原副市長)	7月11日

横浜市会 正副市会議長 7月18日
横浜市 道路局 7月19日

[要望事項]

「建設業の魅力を内外にアピール、働き方改革を通して、若者に選ばれる建設業を目指します。」

1. 公共事業予算確保
2. 横浜市立工業高校建設
3. 建設業の時間外労働の上限規制実施のための環境整備
4. 働き方改革

3. 施設整備補助金事業に対する要望について

横浜市 健康福祉局 12月 1日

[要望事項]

特別養護老人ホーム等の施設整備補助事業について、機能重視の設計に配慮し、適正工期を確保いただきたい。また、工事完了から最後の清算までに時間を要しているので事務処理を迅速に対応されたい

横浜市 こども青少年局 12月11日

[要望事項]

1. 建設資機材高騰への迅速な対応
2. 夏季期間の工程設定について
3. 時間外労働規制を考慮した適正な工期設定

第2 市会議長への要望

実施日 2月8日

場 所 横浜市会棟

[要望項目]

1. 契約議案に関する要望
2. 適切な設定価格 建設価格高騰に伴う価格設定
3. 契約手続きの簡素化 議決までの期間短縮

第3 菅前内閣総理大臣への要望

実施日 7月21日

場 所 衆議院議員会館

[要望項目]

1. 公共事業予算の確保
2. 横浜市立工業高校の設置

3. 時間外労働の規制と働き方改革

実施日 2月13日

場 所 衆議院議員会館

[要望項目]

1. 適切な価格での発注 時間外労働規制を控え鉄筋・型枠等関係業界も厳しい環境におかれている
2. 建設資機材の高騰も続いている
3. 大規模地震に備えたインフラ整備

第4 横浜市関係局との意見交換会・事業説明

道路局との意見交換会について

実施日 7月19日

場 所 311号会議室

契約部契約第一課との意見交換会

実施日 11月15日

場 所 311号会議室

第5 担い手育成

1. 県立神奈川県立工業高等学校生徒現場見学会について

ア. 神奈川県立向の岡工業高等学校

実施日 6月2日

参加者 建設科3年生24名 教諭2名

見学現場 海老名市中学校給食調理施設建設工事

フロール横浜三ツ沢新築工事

イ. 神奈川県立神奈川工業高等学校

実施日 7月12日

参加者 建設科2学年77名

見学場所 勝田小学校及び勝田小学校コミュニティハウス建替工事

横浜市中心卸売市場本場青果部施設整備工事(第一工区建築工事)

2. 浅野工学専門学校特別講座

実施日 1月18日

対 象 建築工学科3年生40人

講 師 渡邊一郎(横浜支部支部長・㈱渡辺組代表取締役)

3. 横浜建設業青年会事業協賛

横浜建設業青年会は、代々次世代育成や社会貢献活動に率先して取り組まれ、特に小中学生の子供たちに出前授業やモノづくり体験を通して建設業の魅力、感動を伝えて、将来の建設業の担い手育成にご尽力頂いていることに心から感謝するとともに、今後ともこの活動を継続、発展されることを願い協賛

実施日 6月15日

場 所 横浜支部 役員室

贈 呈 横浜建設業青年会 会長 恒川淳仁

協賛金 20万円贈呈

4. 横浜 e スポーツ大会「戦参」協賛

子どもから障がい者やシニア世代に渡る幅広い世代に向け、生涯学習の一環として e スポーツの楽しさを体験し e スポーツへの理解を深めるとともに、ヴァーチャルスポーツの普及に努め横浜の新しい文化の発展に寄与することを目的とした大会

横浜支部として趣旨に賛同し協賛

協賛額 10万円

5. はまっ子防災プロジェクト協賛

「はまっ子防災プロジェクト」は、横浜市内の中学生在が分かりやすく防災を学ぶことを目指した教育プロジェクト

横浜支部として趣旨に賛同し協賛

協賛額 15万円

第6 建設業生産性向上事業

1. 横浜支部トップセミナー

日本各地の名所旧跡を訪れ、歴史的建造物やその土地の風物や自然に触れ、見識をより深めるとともに、経営トップ相互の懇談等を通じて会員相互の親睦を深めるとともに建設業について各社の課題や体験談など本音の話が弾んだ

実施日 10月28日・29日

訪問地 関西方面；姫路城、淡路、神戸ほか

参加者 23名

第7 働き方改革

専門工事団体からの要望及び懇談

1. 神奈川県鉄筋業協同組合及び神奈川県型枠工事業同組合

実施日 11月21日

2. 全国クレーン建設業協会
実施日 3月12日
3. 神奈川県コンクリート圧送業協同組合及び全国コンクリート圧送事業団体連合会
実施日 3月25日

第8 防災活動

横浜建設業防災作業隊として活動

1. 令和5年度横浜市総合防災訓練
実施日 8月27日
場 所 新横浜公園「日産スタジアム」第一駐車場
正副支部長出席
2. 令和5年度即時出動訓練
実施日 9月21日
会 場 神奈川県建設会館5階 横浜建設業協会会議室
協会本部訓練 各対象施設との情報受伝達
3. 横浜市防災会議
実施日 2月2日オンライン開催
議 事 横浜市防災計画の修正

第9 会員交流

1. 横浜支部会員懇親会
実施日 11月30日
会 場 ロイヤルホールヨコハマ
出席者 178名（来賓70名、会員等108名）
第一部 菅前総理講演
第二部 懇親会
2. 令和6年賀詞交換会
実施日 1月12日
会 場 ロイヤルホールヨコハマ
主 催 （一社）横浜建設業協会と合同開催
出席者 来賓159名、会員93名
3. 新規会員との交流会
実施日 10月16日
会 場 ローズホテル横浜

第 10 会員表彰

1. 一般社団法人神奈川県建設業協会横浜支部表彰
受賞者 優良従業員 27 名
表彰式 5 月 22 日
会 場 建設会館 2 階講堂
2. 一般社団法人神奈川県建設業協会表彰
受賞者 優良役員表彰 1 名、優良従業員表彰 21 名
表彰式 5 月 23 日
3. 横浜市優良工事施工会社表彰及び横浜建築保全公社優良工事施工者表彰・
横浜市住宅供給公社工事等優良会社表彰顕彰
横浜市優良工事施工会社顕彰
土木部門 8 社
建築部門 4 社
横浜建築保全公社優良工事施工者顕彰
建築部門 4 社
横浜市住宅供給公社工事等優良会社顕彰
建築部門 1 社
4. 推薦
ア.令和5年度全建表彰 12 名
イ.横浜商工会議所優良産業人表彰 16 名
5. 能登半島地震における水道管等復旧派遣に対する顕彰
能登半島地震における水道管等復旧のため横浜市水道局から現地派遣され、
非常に厳しい状況のなかで被災地における水道管等修復作業について甚大な
貢献をされたことに対しその労苦を称えとともに心から敬意を表し顕彰した

第 11 総会・理事会・執行部会・常置委員会

1. 通常総会
実施日 5 月 22 日
会 場 建設会館 2 階講堂
- 1 支部長挨拶 来賓紹介・祝辞
来 賓 横浜市建築局長・神奈川県建設業協会長・横浜建設業協会長

2 議題

- 第1号議案 令和4年度事業報告について
- 第2号議案 令和4年度収支決算報告について
[決算監査報告]
- 第3号議案 令和5年度事業計画案について
- 第4号議案 令和5年度収支予算案について
- 第5号議案 任期満了に伴う役員改選について

2. 理事会

定例理事会年5回開催 役員会構成メンバー(理事19名・監事2名)
 総会付議事項(予算決算等)審議、支部新規業務、事業の決定
 防災訓練、行政等との意見交換会、懇談会
 各種表彰推薦、支部表彰受賞者承認
 関係行政機関との協議、連絡調整
 支部主要事業の計画決定、主要事業報告
 会員入退会の決定
 関係団体との交流促進、事業協賛、支援に関すること 他

・理事会開催状況

第1回理事会 4月20日	令和5年度通常総会、支部表彰、令和6年度横浜市予算に対する要望について 報告事項 横浜市内建設業の人材確保・育成支援等、工事排水に必要な届け出、市建築保全公社事業説明、時間外労働上限規制・働き方改革に関するアンケート調査の対応、神奈川工業高校新年度担い手育成事業への協力依頼、令和5年度予算要望に対する横浜市最終回答について
臨時理事会 5月12日	1 社会員の入会について 書面審議
臨時理事会 6月19日	1 社会員の入会について 書面審議
第2回理事会 7月13日	横浜支部トップセミナー、会員懇親会、eスポーツ協賛について 報告事項 横浜支部表彰、通常総会、横浜市予算に関する意見交換会、県立工業高校生徒現場見学会、横浜建設業青年会担い手育成事業に対する協賛について

臨時理事会	8 月 23 日	2 社会員の入会について 書面審議
臨時理事会	8 月 25 日	3 社会員の入会について 書面審議
臨時理事会	9 月 25 日	2 社会員の入会について 書面審議
臨時理事会	10 月 5 日	2 社会員の入会について 書面審議
第 3 回理事会	10 月 19 日	会員懇親会、発注・入札・契約に関する意見交換会要望、建設業労働時間削減推進協議会市地区会開催について 報告事項 道路局との意見交換会、市総合防災訓練、2027 年国際園芸博覧会協会「GREEN×EXP02027」概要説明、即時出動訓練、第 1 回公共建築勉強会、第 1 回企画委員会、新会員との交流会、県鉄筋業協同組合・県型枠工事業協同組合との懇談会、令和 4 年度中小企業振興施策の取組状況報告書について
臨時理事会	11 月 14 日	2 社会員の入会について 書面審議
臨時理事会	11 月 24 日	2 社会員の入会について 書面審議
臨時理事会	11 月 27 日	2 社会員の入会について 書面審議
第 4 回理事会	12 月 14 日	新年賀詞交換会開催、浅野工学専門学校特別講座について 報告事項 こども青少年局及び健康福祉局施設整備補助金事業に対する要望、前総理講演会並びに横浜支部会員懇親会、発注・入札・契約に関する意見交換会の要望、市住宅供給公社表彰、市優良事業者表彰、市建築保全公社表彰、建設業労働時間削減推進協議会横浜市地区会、道路整備の促進を求める神奈川県大会、市違反建築物等対策連絡会、企業人権啓発講演会、トップセミナーについて
臨時理事会	12 月 22 日	1 社会員の入会について 書面審議
臨時理事会	1 月 11 日	1 社会員の入会について 書面審議
臨時理事会	2 月 2 日	2 社会員の入会について 書面審議
臨時理事会	3 月 7 日	2 社会員の入会について 書面審議
第 5 回理事会	3 月 14 日	令和 6 年度全建表彰・協会表彰・横浜支部表彰、新年度執行体制、はまっこ防災プロジェクト協賛について 報告事項 新年賀詞交換会、浅野工学専門学校特別講座、PFI を利用した市営住宅整備、特定家畜伝染病にかかる防疫作業、横浜市予算説明、市会議長への要望、菅前総理への要望、鉄筋・型枠との懇談会、2027 年国際園芸博覧会、全国クレーン建設業協会との意見交換会、週休 2 日工事の制度改定について

臨時理事会	3 月 21 日	1 社会員の入会について 書面審議
臨時理事会	3 月 27 日	1 社会員の入会について 書面審議

3. 執行部会

執行部会年 9 回開催 正副支部長、各委員会委員長 定数 9 名で構成
 理事会審議事項の事前協議（予算案、決算書の作成、調整）
 新規事業の企画案作成・懸案事項協議
 経常業務執行状況確認、事務連絡その他

・執行部会開催状況

第 1 回	4 月 16 日	令和 5 年度横浜支部表彰、通常総会、令和 6 年度横浜市予算に対する要望、市建築保全公社のランク別発注区分並びに横浜市・市建築墓前公社が発注する小学校工事の問題点について 報告事項 横浜市内建設業の人材確保・育成支援等、工事排水に必要な届け出、市建築保全公社事業説明、時間外労働上限規制・働き方改革に関するアンケート調査、神奈川工業高校新年度担い手育成事業への協力依頼、令和 5 年度予算要望に対する横浜市最終回答について
第 2 回	6 月 15 日	横浜市予算に関する意見交換、新規入会、県立工業高校生徒現場見学会、会員の人事異動、横浜家熱業青年会担い手育成事業に対する協賛金について 報告事項 横浜市総合防災訓練、市高齢者向け地域優良賃貸住宅事業者募集、市排水設備指定工事店の指定更新の申請受付について
第 3 回	7 月 13 日	トップセミナー(案)、会員懇親会(案)、横浜 e スポーツ大会「戦参について 報告事項 令和 6 年度横浜市予算編成に対する意見要望、市道路利用者会議、市住宅リフォーム促進協議会、即時出勤訓練、市木造耐震住宅改修促進事業設計施工事業者登録制度、市土木工事共通仕様書の改定について
第 4 回	9 月 13 日	トップセミナー(案)、会員懇親会(案)、横浜商工会議所優良産業人表彰の候補者の推薦、新規入会、会員の所属委員会について

	報告事項 市総合防災訓練、即時出動訓練、2027 年国際園芸博覧会協会「GREEN×EXP02027」概要説明・共創キックオフ・ミーティング、横浜 PPP プラットフォーム第 1 回勉強会、県鉄筋業協同組合・県型枠工事業協同組合、旧緑園西小学校の新たな活用、第 1 回横浜市公共勉強会について
第 5 回 10 月 19 日	会員懇親会、発注・入札・契約に関する意見交換会要望、建設業労働時間削減推進協議会横浜市地区会の開催について 報告事項 企画委員会開催、新会員との交流会、県鉄筋業協同組合及び県型枠工事業協同組合との懇談会について
第 6 回 11 月 16 日	会員懇親会、賀詞交換会の開催、市優良工事表彰及び保全公社の横浜支部受賞者顕彰、発注・入札・契約に関する財政局契約一課との意見交換会、トップセミナー、県立向の岡工業高校特別授業、企業人権啓発講演会、市違反建築物等対策連絡会、建設業労働時間削減推進協議会横浜地区会、道路整備の促進を求める神奈川県大会について
第 7 回 12 月 14 日	市優良工事施工会社表彰・建築保全公社優良工事施工者表彰・市住宅供給公社工事等優良会社表彰横浜支部会員受賞者顕彰、令和 6 年新年賀詞交換会、浅野工学専門学校特別講座、週休 2 日の制度変更に関する説明について 報告事項 令和 6 年度こども青少年局施設整備補助金に対する要望、令和 6 年度健康福祉局施設整備補助金事業に対する要望、前総理講演会並びに横浜支部会員懇親会について
第 8 回 2 月 21 日	令和 6 年度全国建設業協会並びに神奈川県建設業協会表彰・横浜支部表彰、新年度執行体制、令和 5 年度決算案及び予算案、能登半島地震について 報告事項 令和 6 年新年賀詞交換会、浅野工学専門学校特別講座、PFI を利用した市営住宅整備、特定家畜伝染病にかかる防疫作業、市予算(公共事業)説明、市会議長への要望、菅前総理への要望、鉄筋・型枠・横浜支部懇談会、令和 6 年度週休 2 日工事の制度改定について
第 9 回 3 月 14 日	新年度執行体制、はまっこ防災プロジェクト協賛について

4. 各委員会

(1) 総務委員会

- | | |
|---------------------|--------|
| 第1回総務委員会 | 5月10日 |
| 1 社入会について | 書面審議 |
| 第2回総務委員会 | 6月15日 |
| 1 社入会について | 書面審議 |
| 第3回総務委員会 | 8月21日 |
| 2 社入会について | 書面審議 |
| 第4回総務委員会 | 8月23日 |
| 3 社入会について | 書面審議 |
| 第5回総務委員会 | 8月31日 |
| 横浜商工会議所優良産業人表彰候補者選考 | 書面審議 |
| 第6回総務委員会 | 9月21日 |
| 2 社入会について | 書面審議 |
| 第7回総務委員会 | 10月3日 |
| 2 社入会について | 書面審議 |
| 第8回総務委員会 | 11月9日 |
| 1 社入会について | 書面審議 |
| 第9回総務委員会 | 11月20日 |
| 1 社入会について | 書面審議 |
| 第10回総務委員会 | 11月22日 |
| 2 社入会について | 書面審議 |
| 第11回総務委員会 | 11月24日 |
| 1 社入会について | 書面審議 |
| 第12回総務委員会 | 12月19日 |
| 1 社入会について | 書面審議 |
| 第13回総務委員会 | 1月9日 |
| 1 社入会について | 書面審議 |
| 第14回総務委員会 | 1月25日 |
| 全建表彰候補者選考 | 書面審議 |
| 第15回総務委員会 | 1月30日 |
| 1 社入会について | 書面審議 |
| 第16回総務委員会 | 1月31日 |
| 1 社入会について | 書面審議 |
| 第17回総務委員会 | 2月13日 |
| 協会表彰候補者選考 | 書面審議 |
| 第18回総務委員会 | 2月14日 |
| 横浜支部表彰候補者選考 | |

第 19 回総務委員会 3 月 4 日
 1 社入会について 書面審議
 第 20 回総務委員会 3 月 5 日
 1 社入会について 書面審議
 第 21 回総務委員会 3 月 18 日
 1 社入会について 書面審議
 第 22 回総務委員会 3 月 21 日
 1 社入会について 書面審議

(2) 企画委員会

第 1 回企画委員会

9 月 25 日 横浜支部役員室
 会員懇親会について
 横浜支部トップセミナーについて
 その他

会員の状況 令和 5 年度会員数

(令和 4 年度末会員数	57 社)
令和 5 年度当初会員数	57 社
令和 5 年度中の退会	0 社
令和 5 年度中の入会	22 社
令和 5 年度末会員数	79 社

(令和 6 年 4 月以降 6 社入会)

令和6年度事業計画

令和6年度の経済見通しについて4月に公表された日銀短観(企業短期経済観測調査)では、大企業の製造業の景気判断を示す指数は、一部の自動車メーカーが出荷を停止した影響などで4期ぶりに悪化しました。一方、大企業の非製造業の指数は好調なインバウンド需要などを背景に8期連続で改善し、1991年以来の高い水準となりました。3か月後の見通しについては大企業の製造業が1ポイント、大企業の非製造業が7ポイント、それぞれ悪化すると見込んでいて、日銀は人手不足や海外経済の先行きを懸念する声が多いとしています。

また、企業に従業員の数が「過剰」か「不足」を尋ねる指数化で、人手不足感がある場合はマイナスとなりますが、中小企業の製造業ではマイナス24、中小企業の非製造業ではマイナス47でした。このうち中小企業の非製造業は1983年5月に調査を始めてから人手不足感が最も強くなっています。3か月後の見通しについても、中小企業の製造業がマイナス31、中小企業の非製造業がマイナス50と人手不足の一段の深刻化を見込んでいます。そして、中小企業でも賃上げが進んでいますが、大手企業がそれ以上に賃金を引き上げているため、激しい人材獲得競争の中で人手の確保が難しくなっている状況がうかがえます。

一方、建設経済研究所は4月10日、「建設経済モデルによる建設投資の見通し」を公表し、令和6年度に関しては前年度比2.8%増の74兆3,500億円で前年度並みと予測しています。民間住宅建設投資は、建設コストの上昇が住宅需要を抑制する状況が継続し、新設住宅着工戸数は前年度と同水準と予測。非住宅建設投資は、着工床面積は前年度の大幅な減少の反動により、前年度比で微増と予測されました。

さて、本年4月から建設業の「罰則付きの時間外労働上限規制」が適用されました。本年2月に本件に関するアンケート調査を神建協本部と共有し、この調査により明らかになった課題や要望に基づき、働き方改革の支援や、地域建設業が安定した事業が継続できるよう、引き続き、適正価格や発注方法の改善を求めてまいります。また、令和7年度の予算や施策に反映するため、皆様のご要望やご意見をお聞きし、横浜市の関係部局、横浜市会、関係機関へ伝え、改善を要望してまいります。

こうした活動と併せて会員の増強に努めてまいりましたが、会員数を大幅に増やすことができたのは、会員企業始め、関係団体、関係行政機関のご理解、ご支援の賜物と改めて感謝申し上げます。お蔭様で横浜支部の組織基盤の強化を図ることができました。(令和6年会員総数83社)

当支部は建築業中心の元請企業という特色がありましたが、土木系、造園を主とする企業の方々にもご加入いただきました。建築土木全般をカバーできる組織として更なる飛躍を目指してまいります。

われわれ地域建設業が地域の守り手として、また地域振興にお役に立てますよう魅力有る建設業、誰からも頼りにされ、選ばれる建設業を目指して、会員企業一丸となって努めて参ります。

[横浜支部目標]

◎ 全体目標・共通事項

・横浜支部経営基盤安定

会員企業経営基盤安定のため公共事業確保要望
令和6年時間外労働規制に係る働き方改革等支援
週休2日制、ICT化推進支援施策

・防災対策

横浜市総合防災訓練・即時出動訓練・道路局震災対策訓練、他
(横浜建設業防災作業隊として参加)
神奈川県防災対策、各種感染対策への協力

◎ 委員会別目的・所管業務

○総務委員会

会員の入退会
理事会 執行部会の開催
会員企業及び従業員の表彰
優良事業表彰受賞者顕彰

○建築委員会

入札・契約・発注に関する要望
関係部局関係機関との意見交換
違反建築対策委員会等関係会議への出席

○土木委員会

入札・契約・発注に関する要望
関係局関係機関との意見交換
道路、土木関係協議会への出席

○企画委員会

トップセミナー
新規事業の企画
広報・ホームページ更新

○ 新世代育成委委員会

担い手育成確保
工業高校等現場見学会・インターンシップ・ 出前授業
横浜建設業青年会支援

[主な事業活動]

第1 公共事業の安定的・持続的な予算確保とその円滑な施工

公共事業の継続的かつ安定的な拡充と地域建設業の発展のため、国、県及び横浜市、関係機関、団体等に対して、以下の項目について要望活動を実施してまいります。

- ① 公共事業の安定的確保、事業費の増額
- ② 発注時期の平準化、適正工期、工事経費率の改善
- ③ 建設技術者・技能労働者が安心して働き、将来を託せるために必要な賃金水準を反映した設計単価の改善

第2 担い手確保と育成

若者の人材確保を促進するために建築関係教育機関の現場見学会の開催、インターンシップの積極的受入れ、出前授業の開催、横浜建設業青年会活動支援等を実施します。

一人でも多くの若者に建設業への関心を高め、魅力を知ってもらうことにより、若者の入職促進を図り、また就職後の定着を促進するため、ホームページ、業界誌を活用したPR活動を行います

第3 会員企業の経営基盤強化

地域建設業の将来を見据えた経営戦略と最新情報について、トップレベルの意見交換ができる機会を積極的に作ります。

- (1) 横浜支部トップセミナー
 - ア. 経営トップの情報交換会
 - イ. 新規政策の周知、研修の実施

第4 防災組織体制の整備、活動

- (1)「横浜建設業防災作業隊」による地域防災体制の充実及び訓練への参加
8月(予定)に開催される横浜市総合防災訓練に参加
- (2) 横浜市公共施設に係わる震災時応急措置体制の整備及び訓練への参加
- (3) 横浜市と締結した「がけ崩れ災害に係る応急措置等に関する協定」に基づく応急措置への協力
- (4) 神奈川県と神奈川県建設業協会が締結した「公共建築物に係る地震時」の点検等の協力に関する協定(平成19年1月23日締結)に基づく応急点検への協力
- (5) はまっこ防災プロジェクト協賛
市内中学1年生2万6千人を対象に風水害、地震等の自然災害に対する防災意識を高め、非常時の実践的な対応ができるよう、防災アニメ、防災マップ、防災ガイド等を通じて意識啓発をはかる。

第5 情報機能の強化

- (1) 行政関係など諸情報の的確・迅速な伝達
- (2) 建設業生産性向上、ICT 関連情報の収集と普及
- (3) 神奈川県建設記者会等のマスコミを通じて支部活動をPR
- (4) ホームページによる活動案内、行政情報の提供

第6 関係機関・団体等との交流促進

- (1) 横浜市建築局、道路局、都市整備局、財政局公共施設・事業調整室
契約部等関係局等との意見交換、要望により制度の見直し、働き方改革等諸課題
の解決に努めます。
- (2) (一社)神奈川県建設業協会、(一社)横浜建設業協会等との交流を促進します。
新年賀詞交換会、横浜市総合防災訓練、横浜市即時出動訓練(震災時)
- (3) 横浜市建築関係協議会への参加、協力
横浜市防災会議、横浜市違反建築等対策連絡会議、横浜市道路利用者協議会、
横浜市環境保全推進協議会等の理事及び委員として活動に協力します。

第7 表彰

- (1) (一社)神奈川県建設業協会横浜支部表彰の実施
- (2) 各種表彰候補者の推薦
協会表彰、全建表彰、優良事業者表彰(商工会議所)

第8 委員会活動

総務委員会、建築委員会、土木委員会、企画委員会、新世代育成委員会を設置
会員はいずれかの委員会に所属し、委員会毎、テーマごと分担を決め活動します。